

調査概要

第10回 こどもの居場所部会	
令和5年10月6日(金)	資料3

目的

- ・こどもの居場所づくりに関する指針（仮称）を策定するにあたり、具体的にどのような場を居場所と感じているのか、またその場に何を求めているのかなどを通じて、こどもたちの視点に立った居場所の視点や理念等を取りまとめるために実施。
- ・全国の母集団より回答者を無作為抽出での実施ではないため、こども・若者の居場所の傾向等を把握するのではなく、広くこども・若者の意見を収集することを目的とする。

調査対象

おおむね6～30歳
 ※6～18歳を主な対象と想定するが、調査対象となる居場所を利用する未就学児や、18歳以上が対象に含まれることも想定。

調査方法

- ・Microsoft Formsを活用し、こども家庭庁のホームページ上に掲載し、ウェブ調査として実施。
- ・回答者の年齢等への配慮から、①中高生を想定した通常版、②低年齢の児童を想定したやさしい日本語版の2種類を作成し、回答者に選択してもらった。
- ・回答者の負担軽減と、回収率向上の観点から、こどもが5分程度で回答できるボリューム感で調整。

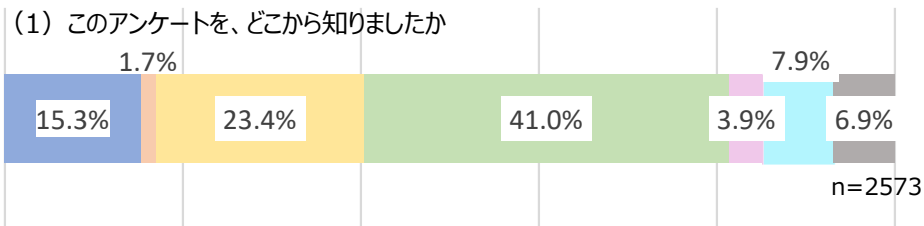
調査内容

- ・回答者属性（調査をどこから知ったか、年齢、性別、住んでいる地域）、居場所の必要性、居場所の有無
- ・利用している居場所について、どのような居場所か、居場所の利用前後での変化、居場所への要望等
- ・居場所を利用し始めたきっかけ、どのような居場所であれば、利用したいか

調査結果 - 回答者の属性 -

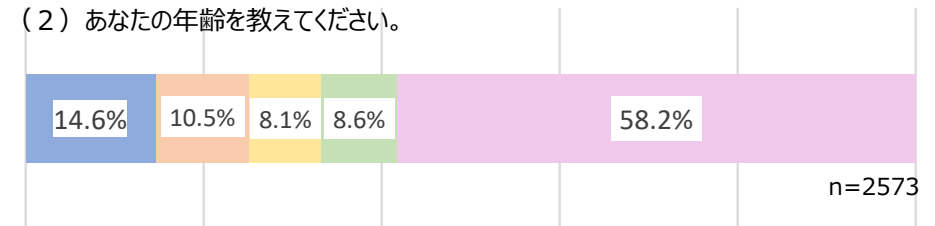
- ・計2,573名からの回答を得た。* すべて匿名であり、メールアドレス等の個人情報は取得していない
- ・回答者の属性は、以下の通りである。
- ・回答者の属性の偏りをなくして実施したものではなく、全国の母集団より回答者を無作為抽出したものであるため、本調査の結果が、こども・若者の居場所の傾向を代表するものではない。広くこども・若者の意見を収集することを目的としている。

アンケートの入手元



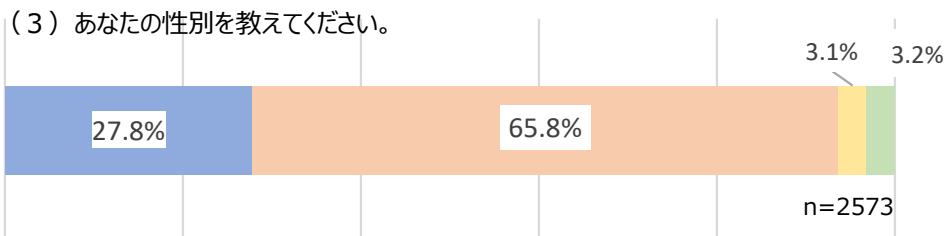
- 保護者から
- 通っている施設・団体の大人から
- SNS (Twitter、instagramなど) から
- 子ども家庭庁のホームページから
- 子ども若者★いけんぶらすから
- その他
- 学校の先生から

回答者の年齢



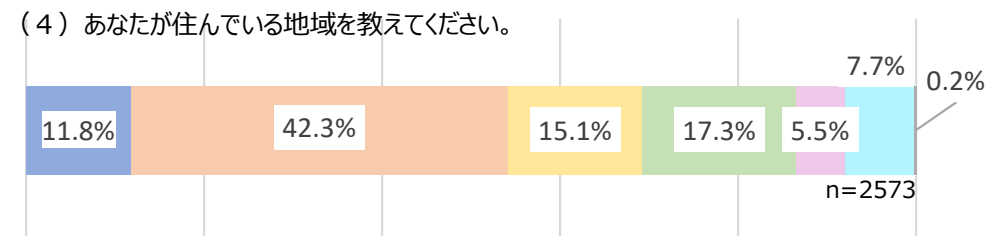
- ～9才
- 10～12才
- 13～15才
- 16～18才
- 19才以上 (おおむね30才まで)

回答者の性別



- 男
- 女
- どちらともいえない
- 答えたくない

回答者の居住地



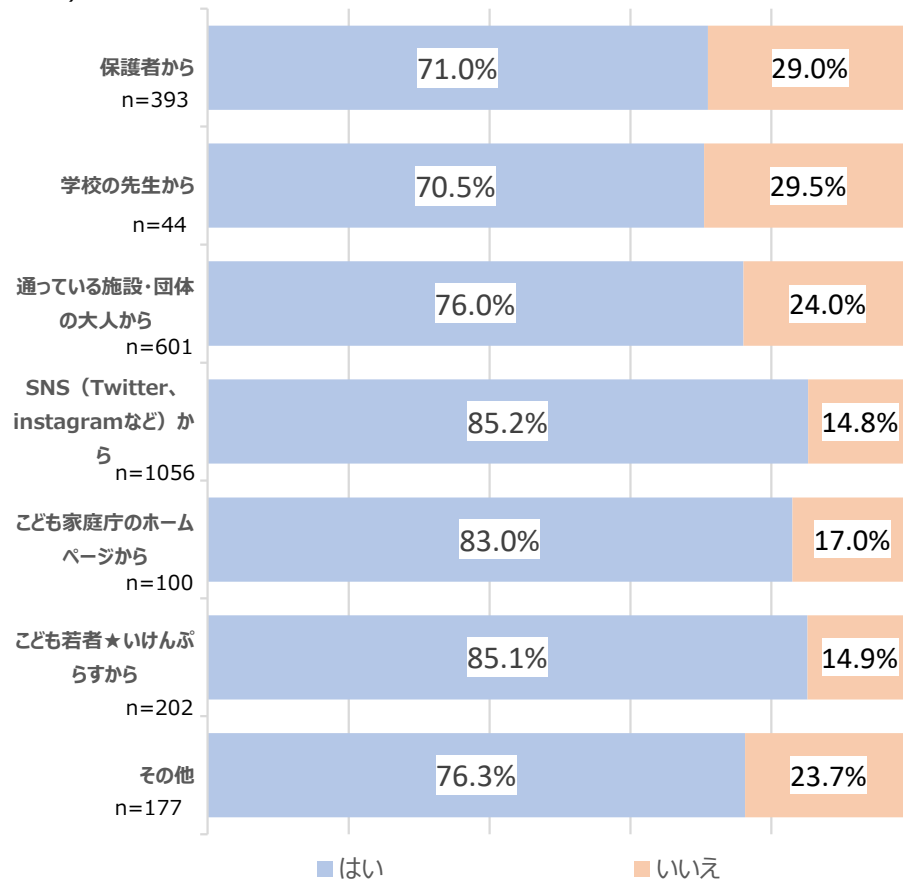
- 北海道・東北地方
- 関東地方
- 中部地方
- 近畿地方
- 中国・四国地方
- 九州地方
- 海外

調査結果 - 居場所のニーズ (アンケートの入手元別) -

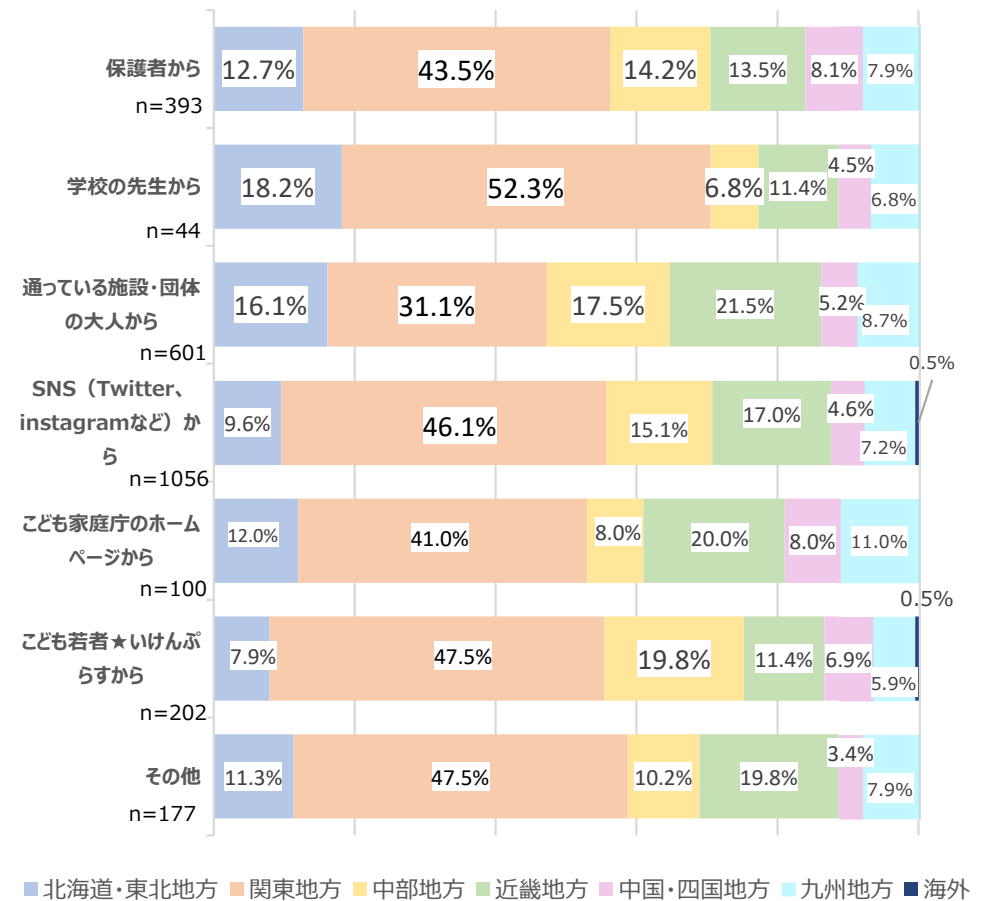
- ・「SNS (Twitter、instagramなど)から」「こども家庭庁のホームページから」といったインターネットを経由した回答において、こども・若者の居場所のニーズが高い傾向にあった。
- ・ただし、上記経由の回答の約8~9割は、19歳以上の若者が占めており (次スライド)、年齢による影響を受けている可能性がある。

アンケートの入手元×居場所のニーズ

(5) あなたは、家 (普段寝起きをしている場所) や学校 (授業や部活、クラブ活動) 以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がほしいですか。



アンケート入手元別×居住地域

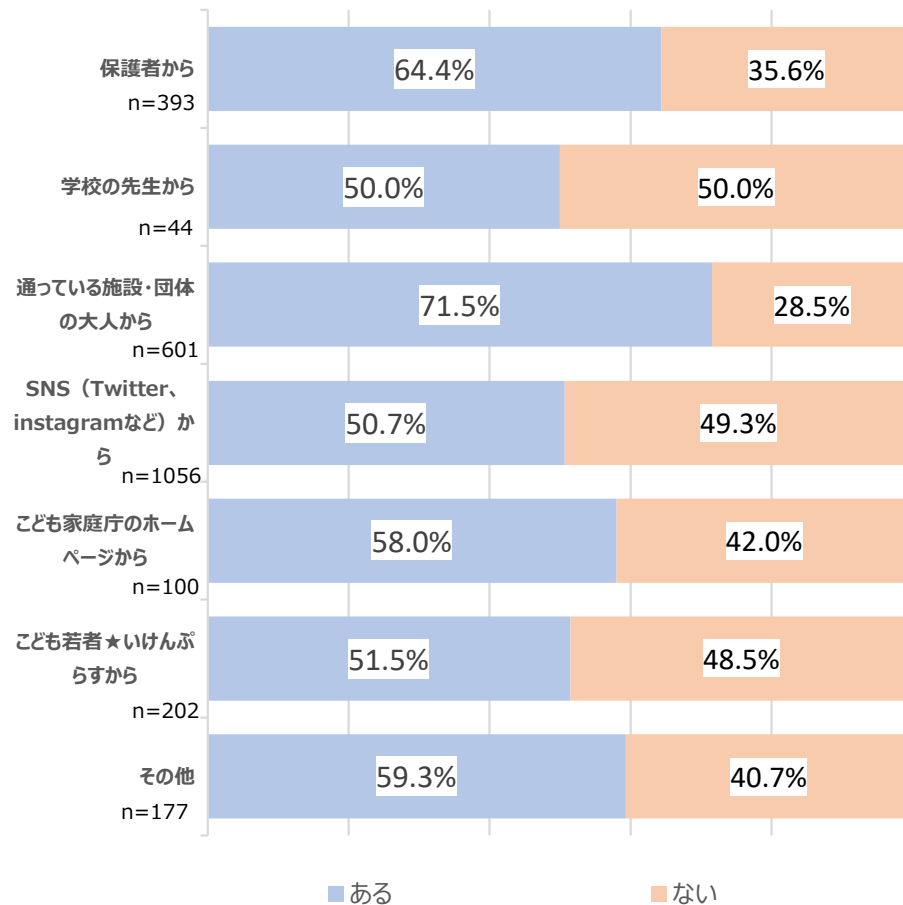


調査結果 - 居場所の有無（アンケートの入手元別）

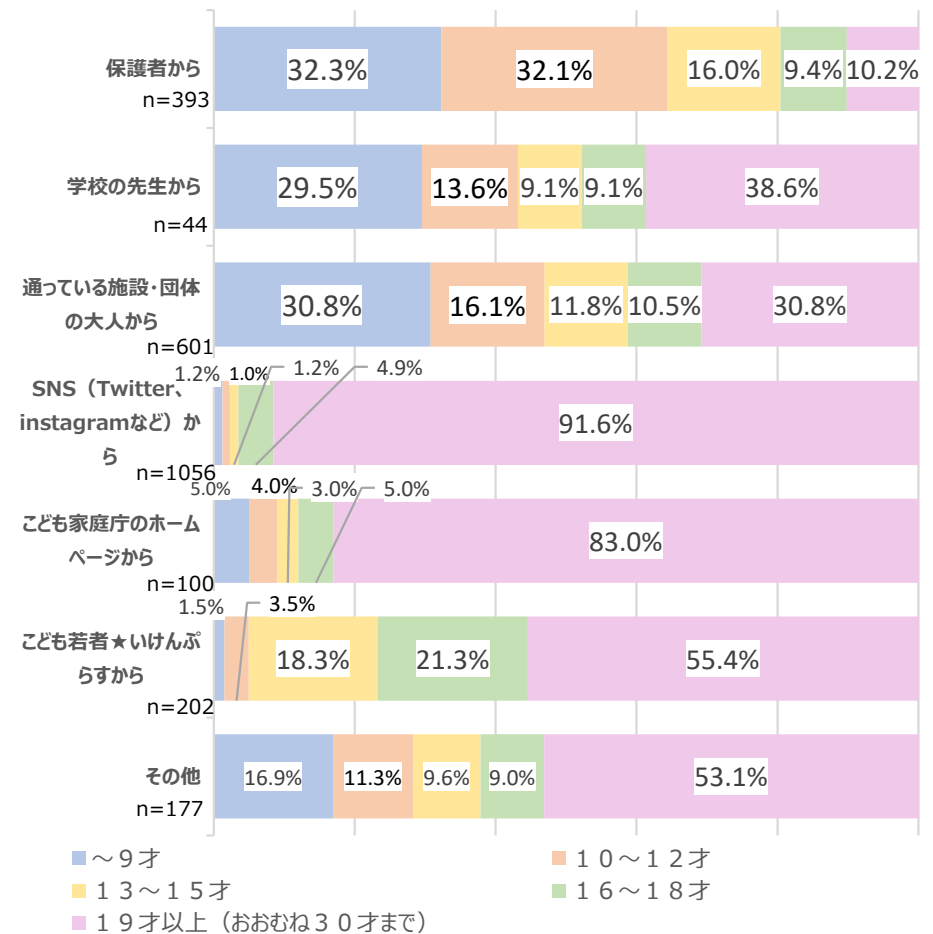
- ・通っている施設・団体の大人から入手したこども・若者は、「居場所がある」と回答した割合が多く、その場が居場所になっている可能性が高い。
- ・SNSやこども家庭庁のホームページからといったインターネットから回答したこども・若者の年齢は、19歳以上が多い。

アンケートの入手元×居場所の有無

（6）あなたは、家（普段寝起きをしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がありますか。



アンケートの入手元×年齢

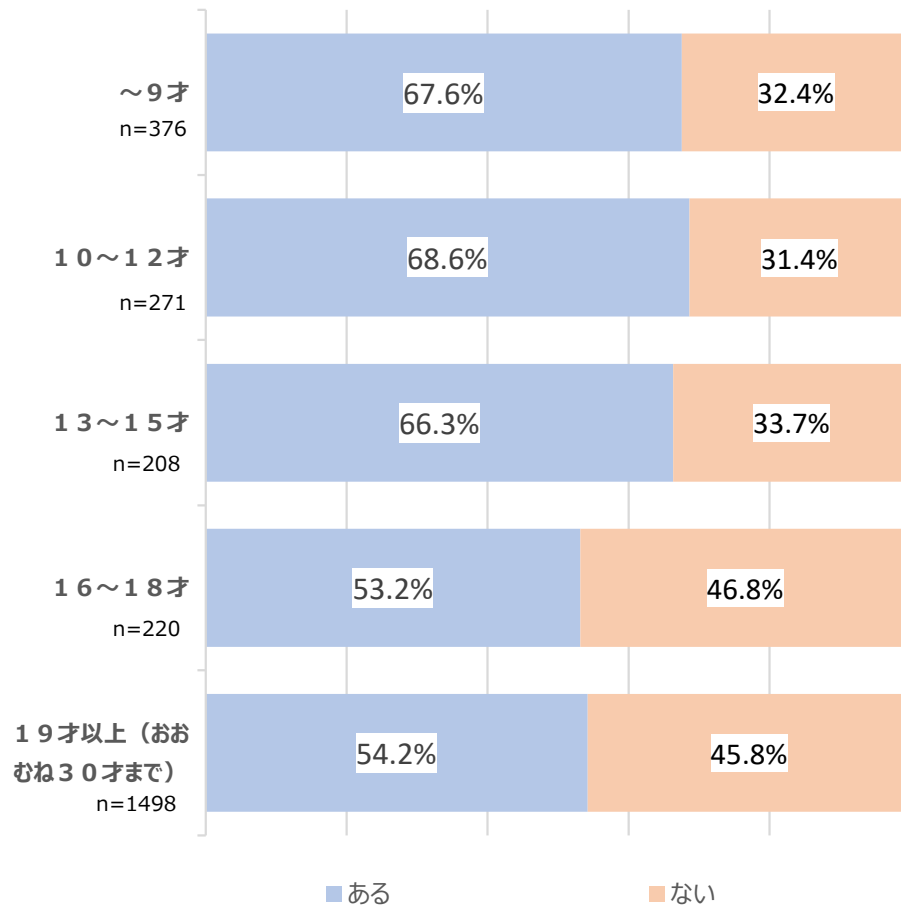


調査結果 - 居場所の有無 (年齢別) -

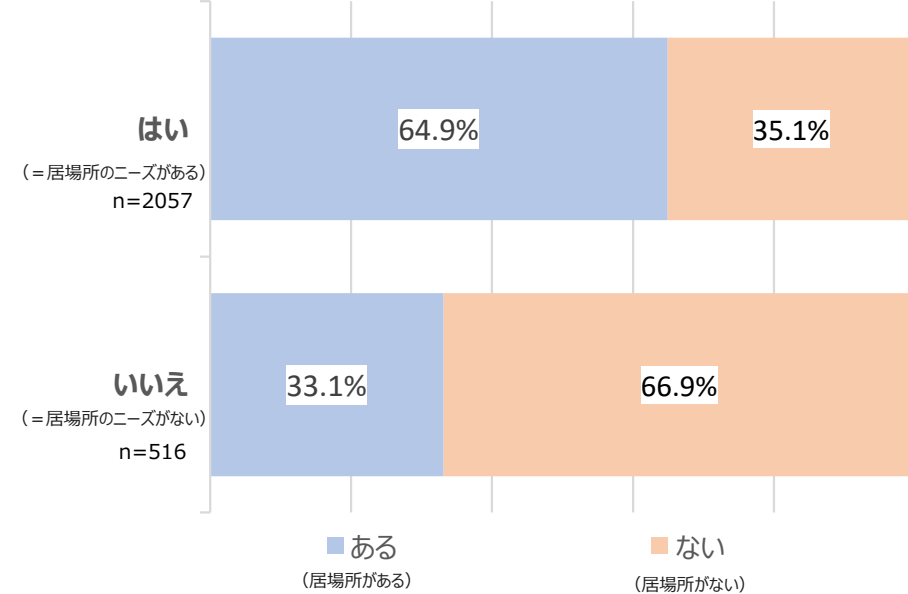
- ・16歳以上の子ども・若者は、それ以外の年齢に比べると「居場所がない」と回答する割合が高い傾向にあった。
- ・居場所のニーズがあると回答した子ども・若者のうち、居場所がないと回答した割合は約3割であった。
- ・ただし、回答のサンプルには偏りがあるため、この結果をもって子どもの居場所の傾向を判断できるものではなく、回答の解釈には注意が必要である。

年齢×居場所の有無

(6) あなたは、家（普段寝起きをしている場所）や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がありますか。



居場所のニーズ×居場所の有無



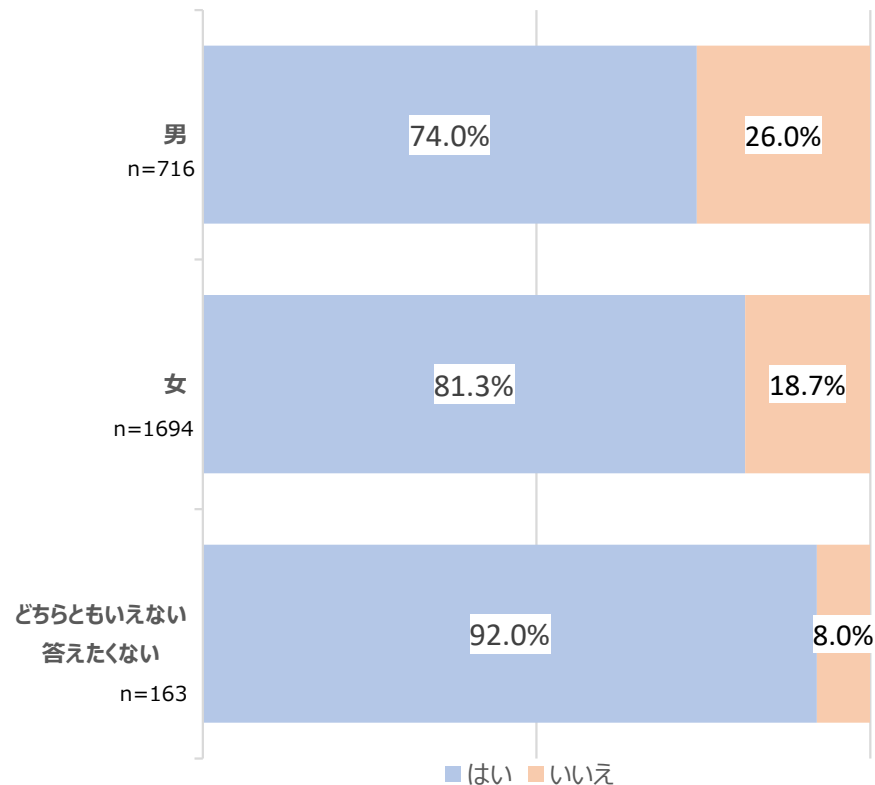
【居場所のニーズ】
あなたは、家（普段寝起きをしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がほしいですか。

調査結果 - 居場所の有無 (性別) -

- ・性別について「女」と回答したこども・若者は、「男」と回答したものと比べ、居場所がほしいと回答する割合が高かった。
- ・性別について「男」と回答したこども・若者は、「女」と回答したものと比べ、居場所があると回答する割合が高かった。
- ・ただし、回答のサンプルには偏りがあるため、この結果をもってこどもの居場所の傾向を判断できるものではなく、回答の解釈には注意が必要である。

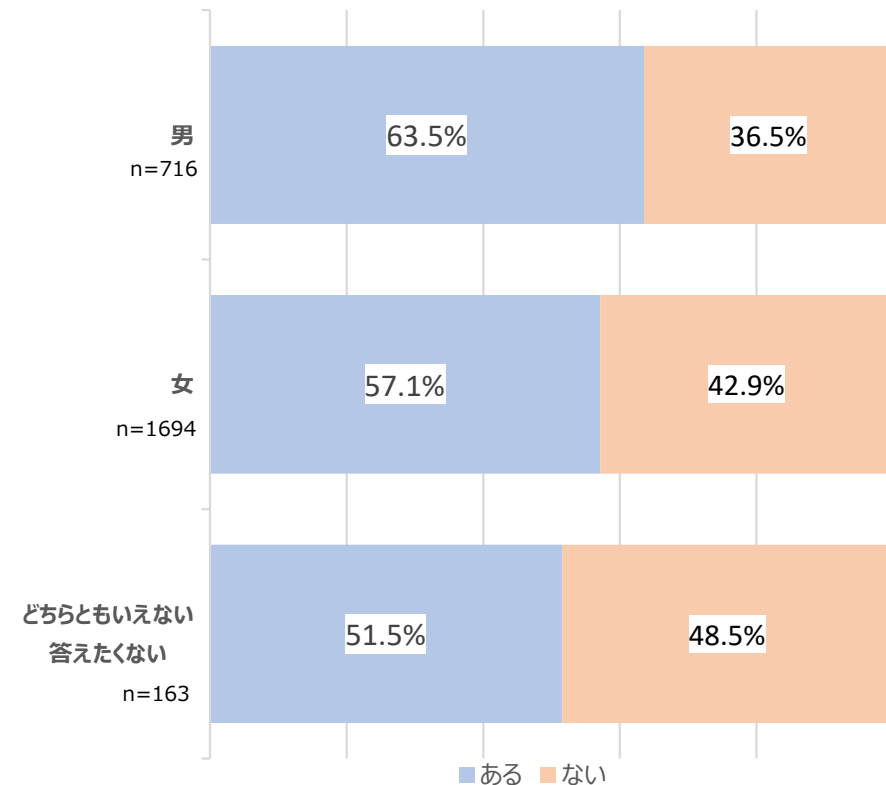
性別×居場所のニーズ

(5) あなたは、家（普段寝起きをしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がほしいですか。



性別×居場所の有無

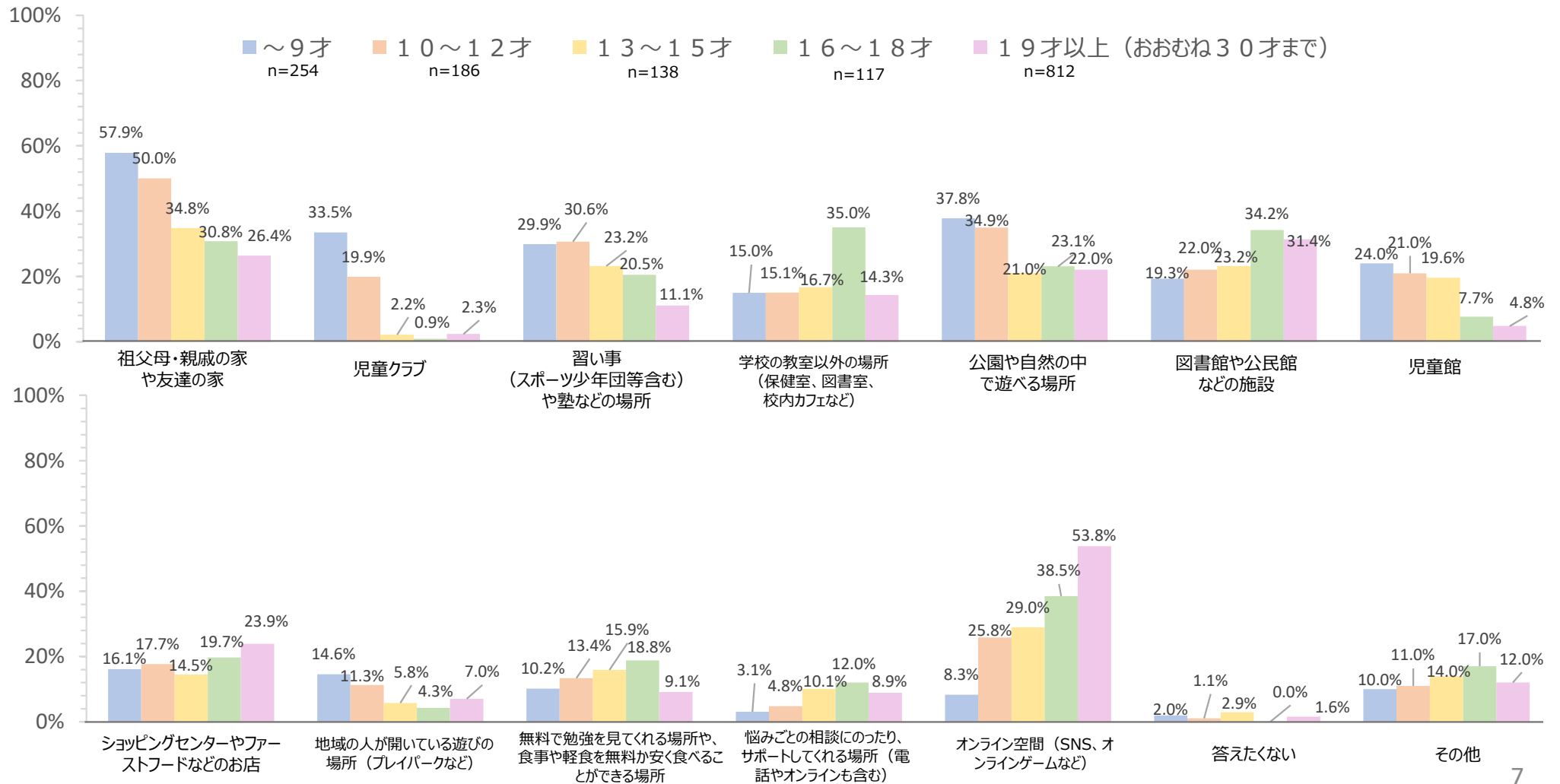
(6) あなたは、家（普段寝起きをしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がありますか。



調査結果 - 居場所があると回答したこども・若者が、どのような場を居場所と感じているか -

- ・年齢区分によらず、「祖父母・親戚の家や友達の家」と回答した割合が高い傾向にある。
- ・年齢が上がるにつれて、オンライン空間を居場所と感じる割合は高くなる傾向にある。
- ・図書館や公民館、児童館など公共施設を居場所と感じる割合も高い傾向にある。

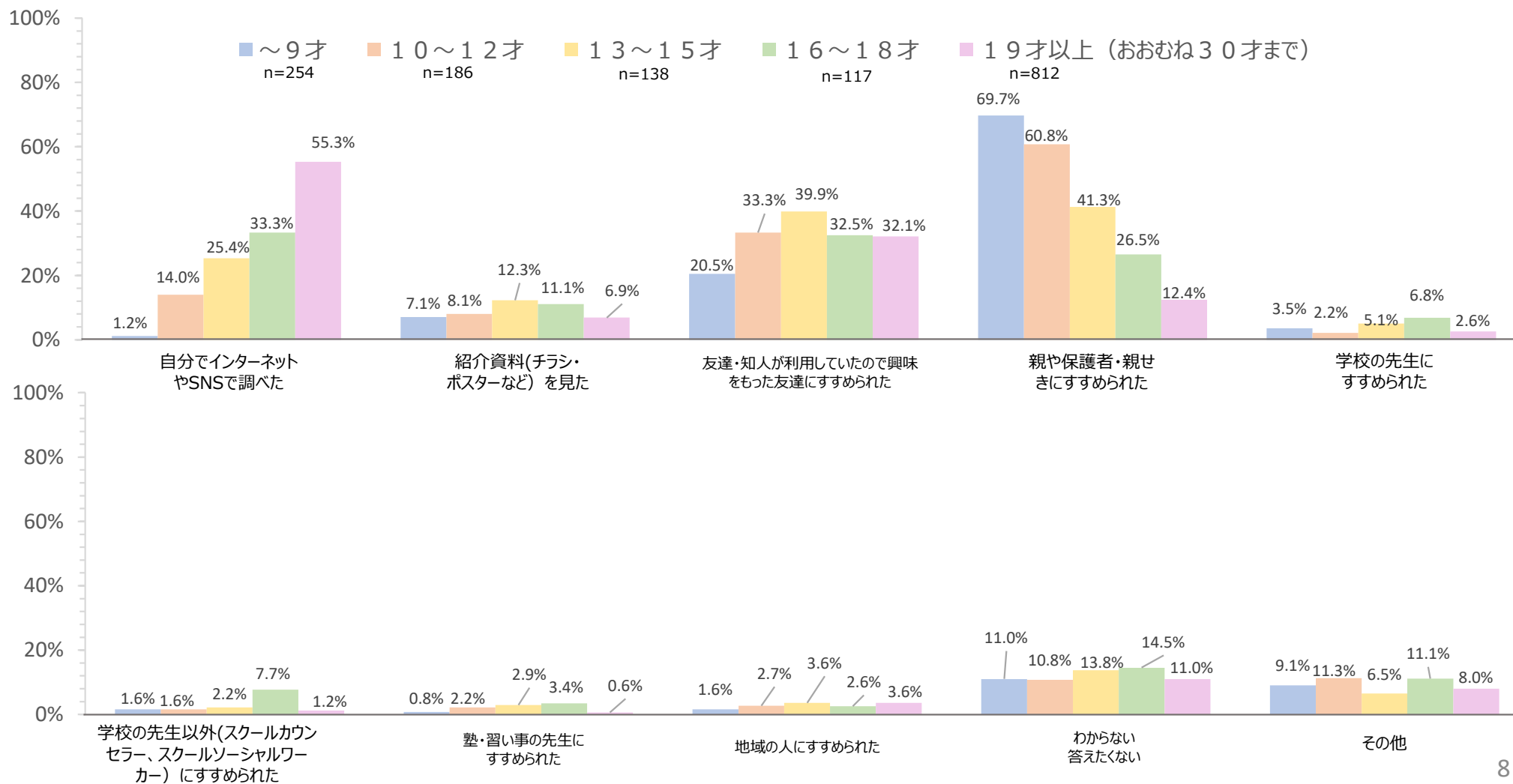
年齢別×居場所と感じている場（物理的にどのような場か）「(居場所があると回答した場合)そこは、どのような場所ですか。」*複数回答



調査結果 - 居場所があると回答した子ども・若者が、どのようなきっかけでその場を利用し始めたか

- ・「自分でインターネットやSNSで調べた」と回答した割合は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあった。
- ・一方で、「親や保護者・親せきにすすめられた」と回答した割合は、年齢が上がるにつれて低くなる傾向にあった。

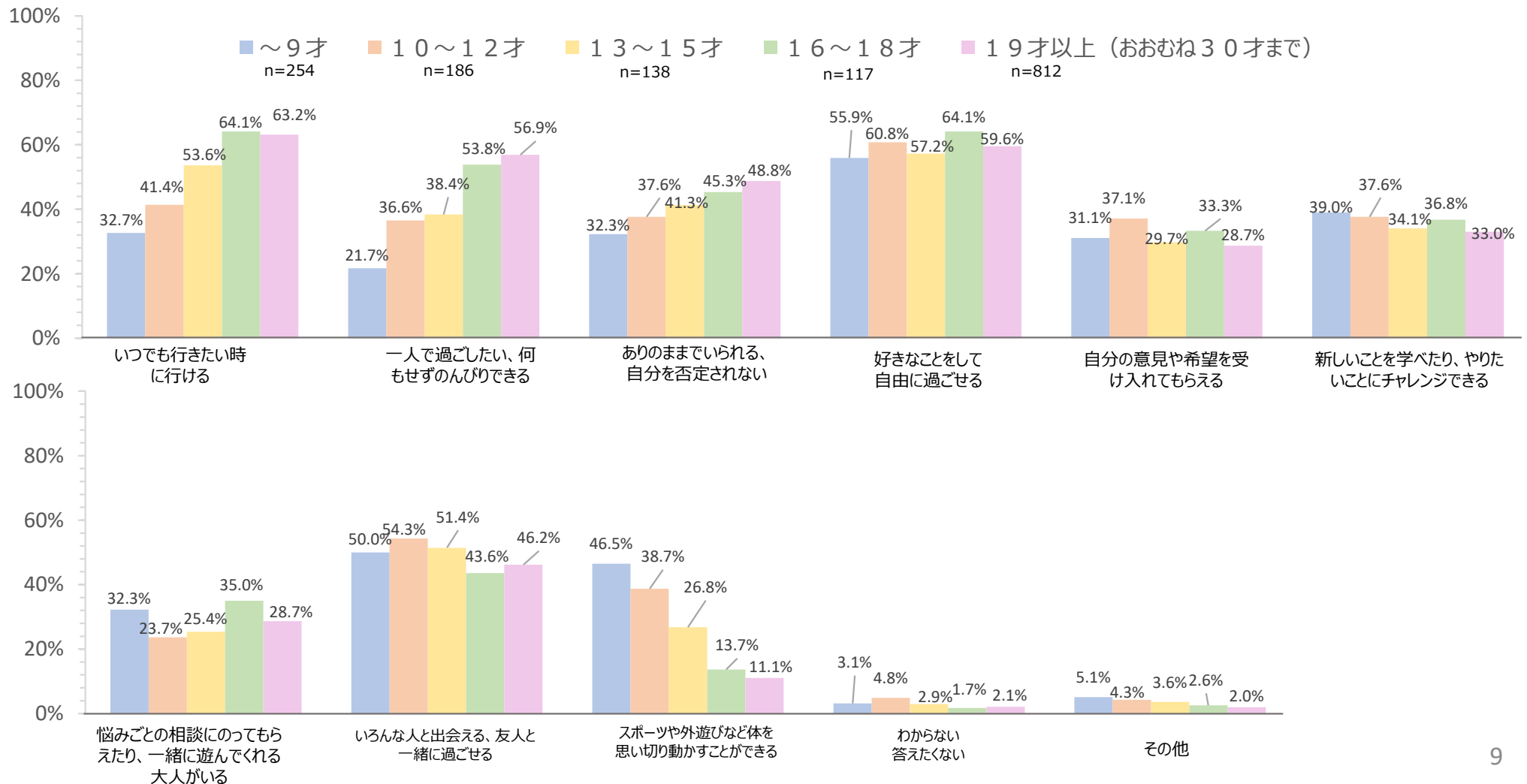
年齢別×きっかけ 「(居場所があると回答した場合)そこに行き始めたきっかけ・理由は何ですか。」



調査結果 - 居場所があると回答したこども・若者が、どのような場を居場所と感じているか -

- ・「好きなことをして自由に過ごせる」「いろんな人と出会える、友人と一緒に過ごせる」と回答した割合は高い傾向にあった。
- ・「いつでも行きたい時に行ける」「一人で過ごしたい、何もせずのんびりできる」「ありのままでいられる、自分を否定されない」と回答した割合は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあった。「体を思い切り動かすことができる」割合は、年齢が上がるにつれて低くなる傾向にあった。

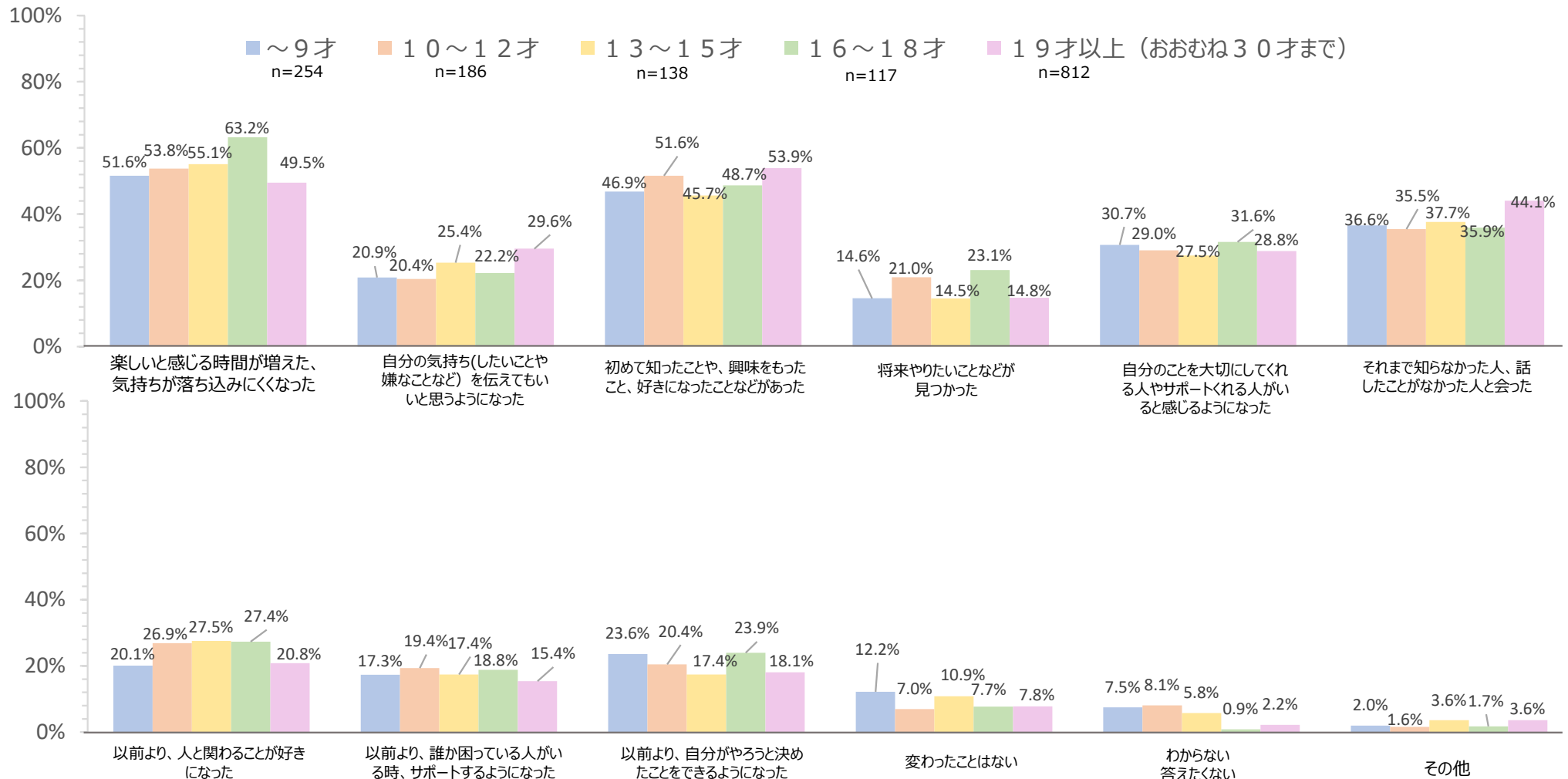
年齢別×居場所と感じている場（機能的にどのような場か）「(居場所があると回答した場合)そこは、どのような場所ですか。」*複数回答



調査結果 - 居場所があると回答したこども・若者における、居場所の利用前後での変化

- ・年齢区分によらず、「楽しいと感じる時間が増えた、気持ちが落ち込みにくくなった」と回答した割合が最も高く、次いで、「初めて知ったことや、興味をもったこと、好きになったことなどがあつた」と回答した割合が高かつた。
- ・どの年齢区分においても、上記項目以外の変化を回答している割合は一定程度あり、居場所の利用前後でのこども・若者の変化は多様である。

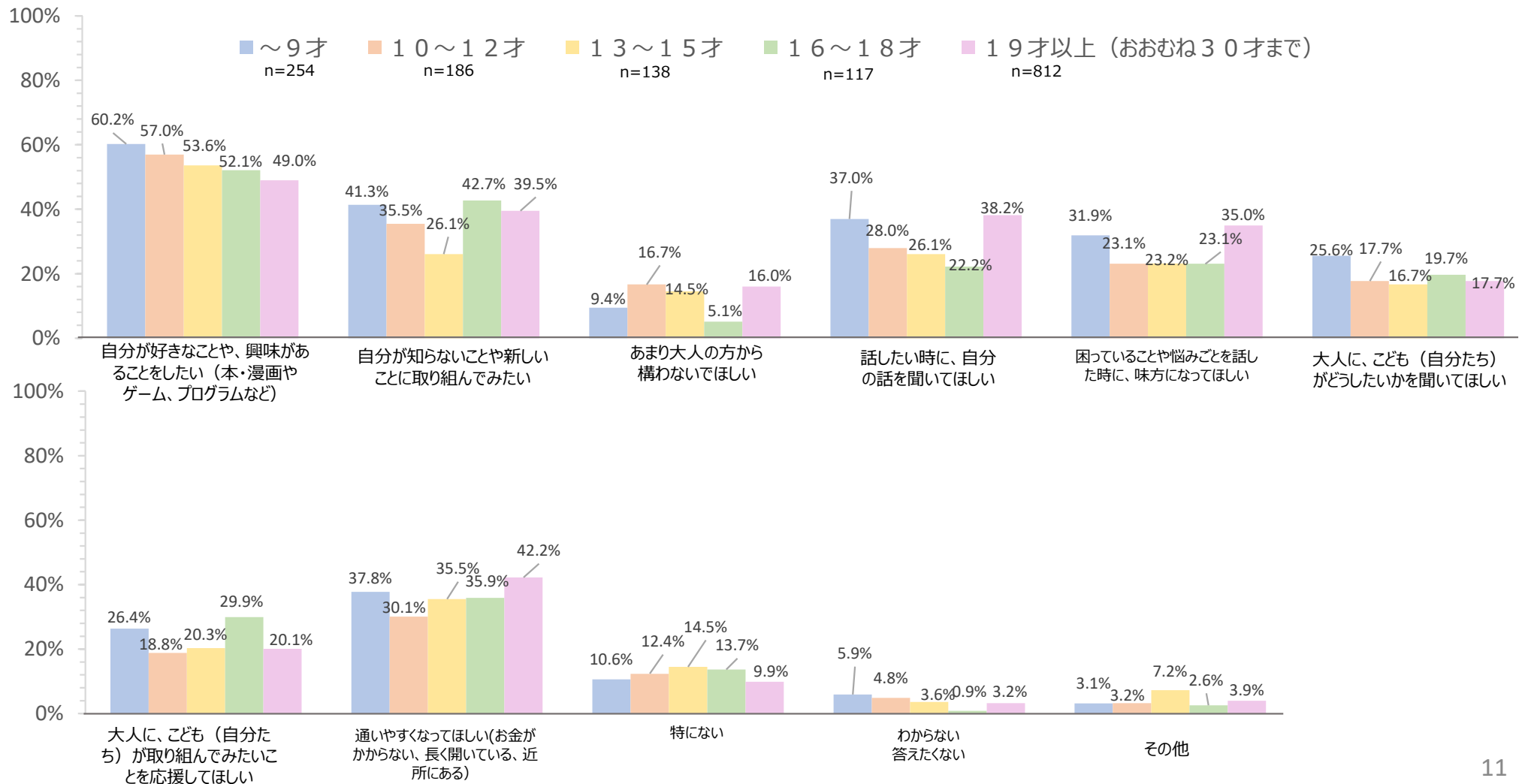
年齢別×居場所の利用前後での変化「(居場所があると回答した場合)そこに行くようになって、変わったことがありますか。」*複数回答



調査結果 - 居場所があると回答したこども・若者における、居場所への要望 -

- ・年齢区分によらず、「自分が好きなことや、興味があることをしたい」と回答した割合が最も高かった。
- ・次いで、「自分が知らないことや新しいことに取り組んでみたい」、「通いやすくなってほしい」と回答した割合も高い傾向にある。

年齢別×居場所への要望「(居場所があると回答した場合)居場所で行ってみたいことや、もっとこうだったらいいのと思うことはありますか。」*複数回答

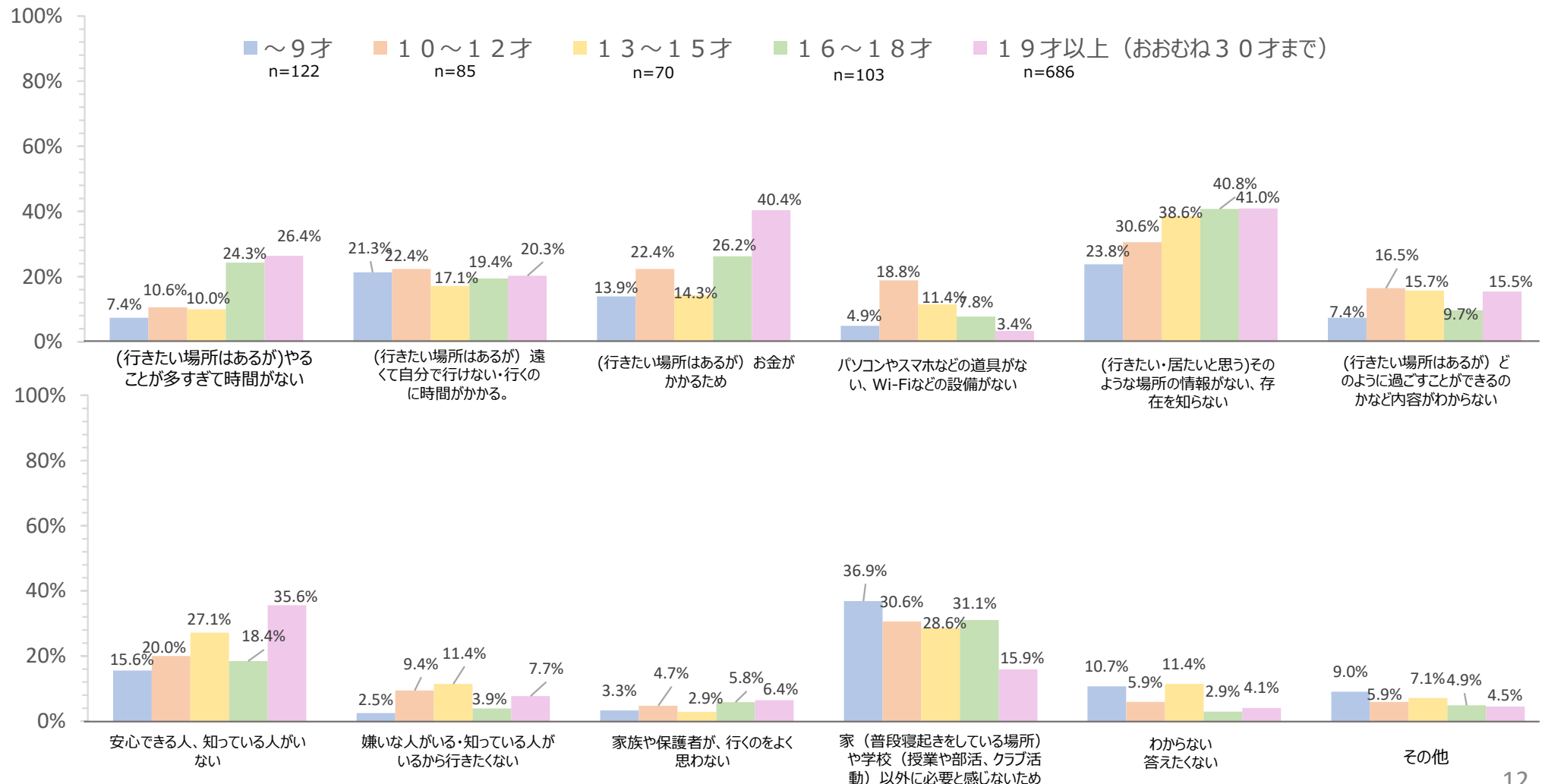


調査結果 - 居場所がないと回答したこども・若者における、居場所がない理由

- ・ない理由として、「(行きたい・居たいと思う)そのような場所の情報がない、存在を知らない」と回答した割合は、どの年齢層でも高かった。
- ・次いで、「家や学校以外に必要と感じないため」と回答した割合が高かった。

年齢別×居場所がない理由

「(居場所がないと回答した場合) 家(普段寝起きしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる場所がない理由を教えてください*複数回答



調査結果 - 居場所がないと回答したこども・若者における、利用したい居場所

- ・「いつでも行きたい時に行ける」「好きなことをして自由に過ごせる」を回答した割合は、どの年齢においても高い傾向にある
- ・「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」「ありのままでいられる、自分を否定されない」を回答した割合は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向にある。

年齢別×利用したい居場所 「(居場所がないと回答した場合) あなたは、どのような場所であれば行ってみたいと思いますか。* 複数回答

